

図 4.1.4 GKS 地域における戦略的都市センターと道路網の空間構造

4.1.3 機能的な都市センターの開発戦略

(1) 中心業務地区(CBD):スラバヤの中心部

スラバヤの CBD は、GKS 地域の玄関口であり、国際的なレベルで各種都市サービスを提供している。しかし、さらに魅力的になるためには、密集した都心部の再編成が求められる。このような都心部の再編は、スラマドゥ橋の存在と相まって、スラバヤの魅力を増し MICE¹機能を拡充し、国際的なビジネスと観光目的地になるであろう。また、交通管理を含む適切な交通改善計画などがなければ、交通渋滞はさらに悪化するだろう。スラバヤ中心部のビジネス環境改善に加えて居住環境改善も重要である。

(2) CBD 周辺の既成市街地

スラバヤの既成市街地は、非常に人口密度が高く、都市施設、特に教育施設と緑地・公園、フィーダー道路が不足している。こうした密集市街地では、居住環境の改善、特に緑地空間と教育施設の整備が最優先課題である。そのためには、再開発事業や土地区画整理事業が住民参加アプローチによるボトムアップ方式で計画される必要がある。

¹ MICE は、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨 (Incentive)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、イベント・展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字。

(3) 郊外開発(スラバヤ郊外)

スラバヤ郊外地域は、都市化の最前線であり、市街地をできるだけコンパクトにして、十分に公共施設を整備し良好な居住環境が保てるように、新規開発を適切に管理・指導し、いわゆるスプロール化を阻止すべきである。郊外地域は、シドアルジョ、グレシック、モジョケルト方向に広がり、スラバヤから 20km 圏はスラバヤの通勤圏となっている。郊外地域におけるニュータウン開発は、良質な住宅地の整備と近接地での工業開発による雇用創出が期待される。さらに、郊外地域は、物流と複合一貫輸送の交通結節点として機能することも期待されている。

(4) GKS と SMA のサブセンター

GKS のサブセンターは、業務・商業・貿易等の都市サービスを提供することで、スラバヤと地域のサブセンターや下位のセンターを結びつけ、さらにそれらサブセンターの後背地を結びつけている。つまり、これらのサブセンターは、大スラバヤ統合経済圏が全体として機能するための重要な役割を果たしている。これらのサブセンターが適正に機能するには、サブセンターが交通ネットワークで結ばれることが重要となる。

(5) 工業地域

既存の工業地域が環境への悪影響を軽減するためには、(1) 環境問題を集団的に対処するための産業クラスターの形成、(2) 公害を出す産業の既成市街地からの移転、を実施する必要がある。

将来的に工業開発のために広大な土地を開発する必要があるため、環境問題は非常に重要である。郡・市の空間計画の土地利用計画によると、GKS 地域には多くの工業団地が計画されている。そのほとんどは、既存の工業開発軸上とスラバヤの中心から約 20km の環状道路沿いに立地している。これらの工業開発に対応するためには、道路網、物流拠点、インフラ・ユーティリティの整備が必要となる。特に工業用水の確保は重要である。また、バンカラン、グレシック、ラモンガンが検討している工業団地への企業を誘致する場合、地元経済への好影響を考慮して、地場資源型産業、すなわち農業、漁業、地元技術と人的資源を活用する産業を選択する必要がある。

4.1.4 都市・地方リンケージ

GKS のなかで後進的な農村地域は、活発な社会経済活動を通して、農村の拠点センターと都市部の連携強化により発展を促進する必要がある。このため、農村地域も、都市と同様に、効率的なインフラ・ネットワークにより相互連携するような階層的グループを形成させることが必要である。

(1) 地方サービスセンターの強化

東ジャワ州空間計画では、図 4.1.5 に示すように、農村システムを 3 つの階層のサービスセンターで構成することを提案している。

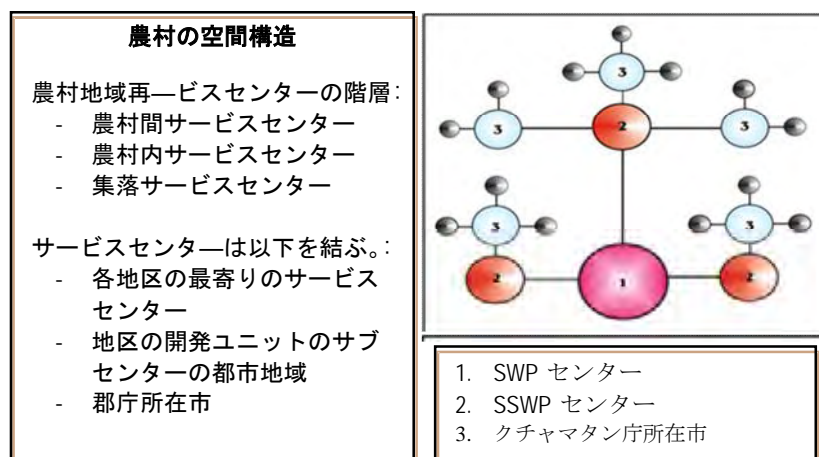
1. 複数の農村をカバーする農村間サービスセンター (PPL)
2. 個々の農村のサービスセンター (PPD)
3. 1 つないし複数の集落のサービス・センター (PPD)

このような階層における農村のサービスセンターは、都市センターと経済的連携関係を持つ必要がある。この 3 階層の農村地域の空間構造は、農村のサービスセンターの発展の波及効果が加速的に発現することで形成される。

(2) 農業生産性の強化

農村経済を活性化するためには、サブセンターの活性化だけでなく、デサ（村）の開発も必要である。そのためには、ダイナミックで多様なデサ経済(Dynamic, Diverse Desa Economy)、つまり「3D経済」を推進し、農村経済を活性化することが肝要であり、次の政策方針があげられる。

- 農民組合の強化
- 財政支援の提供
- 情報と技術的なアドバイスの提供
- 種子生産性、灌漑、肥料使用、収穫後活動等の改善



出典：東ジャワ州空間計画

図 4.1.5 階層的なサービスによる地方の空間構造

(3) アグリビジネスの多角化

農業生産性向上と農村工業開発に加えて、農業の多角化の必要性がある。日本の農業事業の多角化事例を参考にすると、「一村一品運動」(Satu Desa Satu Produk) と道の駅 (Jalan Stasiun) があげることができる。

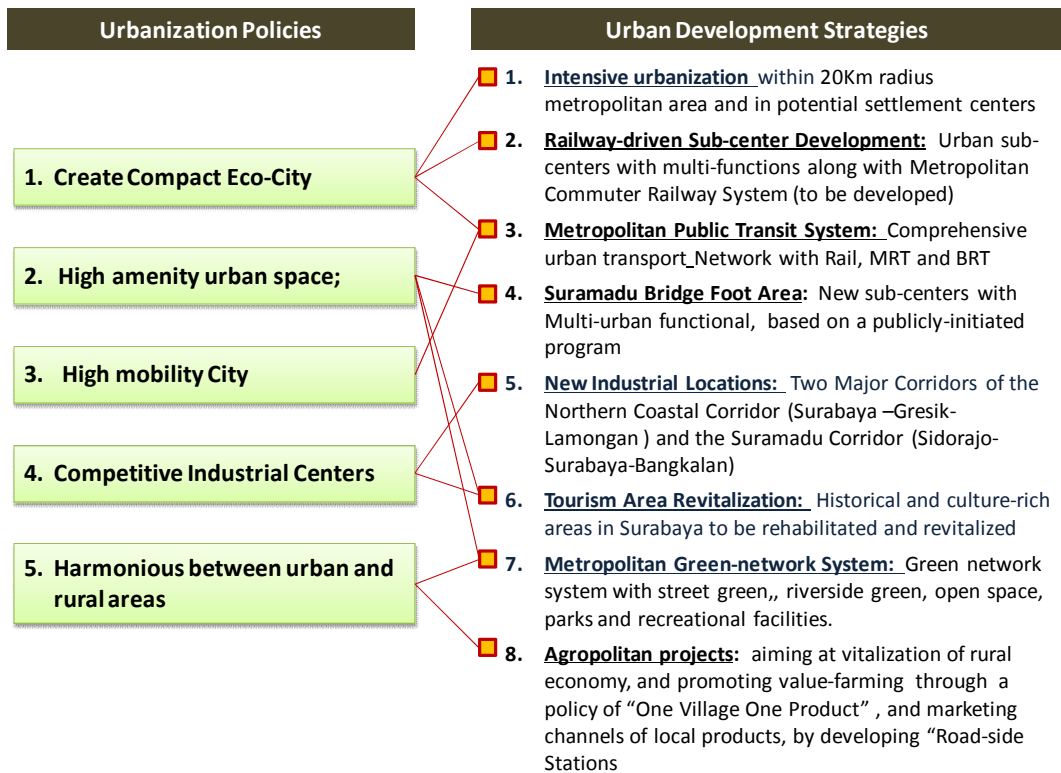


図 4.1.6 GKS 地域の都市化方針と都市開発戦略